



### 思い出づくりだけではない、校外での行事！

5月14日（水）～18日（日）の4泊5日、2年生の船中泊を伴う自然教室を皮切りに、5月28日（水）、1年生の校外学習、5月28日（水）～30日（金）の2泊3日、3年生の修学旅行まで、全学年による校外での大きな行事が行われました。実施前にはそれぞれの学年で実行委員を組織し、実行委員を中心に各学級で話し合いを進め、めあてを確認したり班を決めたりし、生徒が主体的にかかわる姿が見られました。

#### ☆1学年のスローガン

『みんなで協力し合って、最高の校外学習にしよう』

ねらいは、「相手意識」をもって、きまりやマナーを守って行動することでした。酒沼でいかだに乗ったり、伝統漁の講話を聴いたり農業体験をしたり、常澄に隣接する茨城町で体験活動をしてきました。身近なところでどのような産業があり、人々の暮らしがあるのかを感じることができました。また、ねらいを意識した行動もしっかりととれました。



酒沼でのいかだ体験

#### ☆2学年のスローガン

『最初で最後の船中泊

＜北海道で一生に一度の思い出づくり＞』

ねらいは、規律ある集団生活の中で、北海道の自然、文化に触れ、豊かな人間性や自主性と協力性を養うことでした。北海道でアイヌの人々の暮らしを学んだり、ラフティングを通して北海道の自然を肌で感じたりすることができました。船に乗るといって、普段あまりできないことも体験してきました。天気があまり良くなかったので少し揺られましたが、みんなが楽しい時間を過ごすとともに、ねらいにある協力する姿が、多くの場面で見られました。



沙流川でのラフティング

#### ☆3学年のスローガン

『我が修学旅行に一片の悔いなし！！

～今鹿できない思い出を～』

ねらいは、共同生活や体験学習を通して、自主性、責任感、協調性の更なる伸長を図るとともに、古都京都や奈良の文化財に触れ、日本の歴史・文化への理解と関心を深めることでした。新幹線を使って、古都京都・奈良へ。「神社や寺を見ても・・・」と言っていた生徒も、実際に大仏を見たり、班別見学でタクシー運転手さんから寺社のいわれ等の話を聞いたりし、興味を抱く様子が見られました。



嵐山の渡月橋をバックに

自然の素晴らしさや、歴史や伝統のよさに触れて感動したり、羽目を外しすぎて指導を受ける中でルールやきまりの大切さ、社会に出たときの厳しさを知ったりと、生徒にとって普段の学校生活では学べなかったことを学ぶ機会となりました。この経験を、ぜひ、これからの学校生活や社会生活に生かして欲しいと願っています。